

KODAK Color Control Chart
© The Tiffen Company, 2000
LICENSED PRODUCT

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 B 13 14 15 17 18 19

富田氏林蔵
國盡

ル 3
3185

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
JAPAN
Tohmas

吉昌義鳳著
八田志純校

國
富
士
林

明治五年
壬申四月

中好書
尚書

地理圖記

昭和十三年
二月四日
購求

何
 一
 の
 子
 也

幸に記しりし事あらむ
 朝替必用之事一字略
 絶し児童婦女子暗病
 乃料に満ふ
 之を以て金魚不之の高ねを以て
 物ふし道をも免之る事
 壬申四月 陰義風

國不之能掩

吉い之うの人いれ言こ葉はふう力ちからををねい。
功こうななししとといいひひ琢み磨ぐぬぬ玉たまも
光ひららどど光ひるるねい石いしよよ尾うしろ形かたち
のの人ひとをを生うれま人ひとををももとと彼かの

萬物の靈が自ら造化の神
の御託の便なきをば如何
んや内列玉富強の福ある
者と其民の才を研て智
と昇き家本分と辨て
る

用れ業と教玉の志を
るに天人に天生の賢
もあれど学むぬと学
る者若くして幼少の
成立も母の賢愚に依る

れと。詠も云々。歌の夢。
 茹子ハ生ぬぞと。知勉て世
 の中。父母をあらはるを
 持て。國のち清とあせよ。
 彼不ニ山を映満みかどく

飛渡以。ねい。我をバ
 りれ。う。使ひ。心。を。う。を。え。
 ことけ。ま。さ。ら。な。ぬ。と。え。
 と。成。ぬ。あ。利。字。内。れ。諸。
 玉。り。所。對。峙。の。

朝音と厚くも裁し本
よ初てい王含む梢の花を
待て見よ我日本に実を
若く豊葦原の水穂の
玉又ハ大和の情鈴沙浦

安の玉杜桑玉振と捕して
神坐よりいふ古き宮竈に
帝國で天神地神の代
いおきそ神武天皇
位より今未明治まで

二に千せん五ご百ひゃく三さん十じゅう二に年ねん。

皇こう統とう連れん綿めんおあ傳いつ之の正せい代だい教きょう

一いち百ひゃく二に十じゅう八はち地ち佐さ亞あ細こ五ご此こ

東とう方ほうにに宿しゆく之のたたるる多た少しやうのの國こく東とう

南なんのの左さ平へい洋やう。とととと後ごれれをを

亞あ米み利り四し洲しゅう西せいとと朝てう鮮せん支し

那な平へい夜や小せうとと滿まん洲しゅう西せい比ひ利り

亞あとと四し方ほう北きた恒こゑのの海うみとと東とう

のの隅ぐもハハ魯ろ西せい亞あ飲いんのの加か察さつ加か

小せう福ふく函はふふふ久きう奈な志し理り海かいをを混こん

アス。小^{サハ}西^{セイ}ノ柯^カ也^ヤも同^{ドウ}

ト魯^ロ西^{セイ}亞^アの尼^ニ歌^カ拉^ラ。

ろ^ロれ海^{カイ}を^ヲ居^イる^ルなり。南^{ナン}

東^{トウ}系^{ケイ}を^ヲ中^{チュウ}ふ^フ。東^{トウ}や

水^{スイ}の百^{ヒャク}り^リ。南^{ナン}と西^{セイ}れ^レ皆^{ミナ}く。

大^{ダイ}く連^{レン}る四^シの土^ツ地^チ全^{ゼン}國^ク也^ヤ

也^ヤ。系^{ケイ}里^リ中^{チュウ}の居^イる^ルハ六^{ロク}千^{セン}

里^リ。其^{ソノ}中^{チュウ}に^ニ二^ニ千^{セン}里^リ也^ヤ

直^{チキョウ}徑^{キョウ}の大^{ダイ}凡^{ヘン}ハ二^ニ千^{セン}六^{ロク}百^{ヒャク}四十^シ

里^リ。其^{ソノ}中^{チュウ}に^ニ二^ニ千^{セン}六^{ロク}百^{ヒャク}四十^シ七^{シチ}百^{ヒャク}七^{シチ}十^{ジュウ}七^{シチ}也^ヤ

二方里^{ほうり}修^{あや}りあそ^{めく}周^{しゅう}圍^ゐり
無^む数^{すう}の小^こ流^{りゅう}あり琉^{りゅう}球^{きゅう}大^{だい}
島^{しま}八^{はち}丈^{じょう}や國^{くに}庭^{てい}庭^{てい}を^を是^こ即^{すなは}ち
ん^んど^どち^ちを^を追^おて^て其^{その}地^ちを^を居^ゐる
ぬ^ぬ。

あま^{あま}く^くハ^ハ五^ご歳^{さい}八^{はち}道^{だう}ハ^ハ四^し州^{しゅう}
と^と區^く別^{べつ}して^て先^{まづ}五^ご歳^{さい}内^{ない}に
五^ご國^{こく}の^の山^{さん}城^{じやう}う^うら^らハ^ハ西^{せい}京^{きやう}ハ^ハ
あ^ある^るる^る大^{だい}和^わ河^か内^{ない}り^り。和^わ
泉^{みづ}橋^{はし}は^は。

東海道十五ヶ國ハ倭國ハ
 勢志摩尾張三河ふ志
 江駿河甲斐伊豆お模
 うり。武蔵ふ東京あり
 てあ府と総下総常陸之

東山道の十二ヶ國近江ヤ
 濃ヤ飛騨信濃上野石
 碓氷岩城うり。磐石代陸奥
 陸中ふ陸奥ふ羽前ふ
 羽後ふやう。

山陽道に七玉、若狭城
あつた。能くふ城、中城
後、修後とあり。

山陽道の、玉を丹波丹
後、継て、但、周、幡

に伯耆あり。出雲、石、人、
隠岐とあり。

山陽道の、國、攝、磨、石、
他、備、あ、う、南、中、城、
備、後、と、安、藝、と、周、試、と

虫むしつつちち。

南海道の六國を。紀伊

里 徒 路 へ 海 路 として。 鳴 戸

を
渡り
阿波
潜
岐
早
豫

より出估と到るあり。

西海道さいかいの九ヶ関くわかんハ筑中の筑

後こ来ふあん豊ふ後こ肥いあん肥い後こ

より日向を大隅薩摩

二
名
出
と
ら
。
去
時
と
對
する
の

事紀

水海道の十玉渡橋後
志石特ふと澄水見ふ
振より日高十橋小釧路
振より振室子橋小到
其玉これ内分と七る十

七郡と志と東と西の南東
と。橋津の玉れ大坂の三と
府と山と都と。橋へ
主と安舎あり。七十二
新四鎮と屋と

人々の大凡と云ふは
萬々。其内東京府下
あり。百萬餘り西京と
云ふは七萬四千餘り
他諸國高山多しと云ふ。

中ふは富士と駿河甲斐。
伊豆之國は跨ぐて度
才一丈高嶺と云ふは
のちもさうし一丈四寸七
分を里法に改りて一

里ちやう之あま余ま之ちやう。遠とほ原はら
四し時じ重じゆう消しゆうと。其その外ほかおお
の月ぐわう山さんや。佐さ阿あ師し嶽たけ聖や
あゝる日光にっこう。おああの大おほ峰ね
山さん口くちああ白はく山さん城じやう中ちゆう小せう立たて

山さん。薩さつ摩まの旁まへ方ほう山さん。お後ご
の阿あ蘇そ山さん。常じやう阿あれ。滝たき波は
おああの温うん泉せん。嶽たけ佐さ阿あ
阿あ省しやうお後ご。海かい傍はら東とう
の國くに。岩い城じやう山さん。皆みなああ山さん

の言ふと。中なる何れも
海なるも。噴き出さるる
ぬれぬ。をりく。砂石を
も。より。中なる。しきく
茂。噴き出さるる。数多
こめ。ほろ。やま
こめ。ゆ。る。ところ
こめ。ゆ。る。ところ

富士は高ぬる。延暦や承
平に。噴き出さるる。ぬれ
の。噴き出さるる。古。噴き
く。噴き出さるる。ま。噴き
有る。も。え。さ。お。摸。や。武

花^{はな}ま^ま。砂石^{さうし}の降^{ふり}。も時^{とき}
え^える^る。東^{あづま}に方^{かた}れ^れ。ふ^ふん^ん。小^こさ^さ
ま^ま。変^{へん}出^で来^き。一^{いつ}。所^{ところ}。を^を。氷^{こおり}山^{さん}と
と^と号^{ごう}。一^{いつ}。ど^ど。は^は。不^ふ二^に山^{さん}の如^{ごと}く
か^かる^る。東^{あづま}。ね^ねの山^{さん}と海^{うみ}。和^わ。る^る。を^を

一^{いつ}。と^と。語^ご。て^て。邦^{わう}國^{こく}の^の人^{ひと}も
甚^し。貴^き。矣^や。あり^{あり}。ま^ま。
数^{かず}。多^{おほ}。き^き。川^{かわ}。の^の中^{うち}。刺^さ。根^{こん}。川^{かわ}
ふ^ふ。若^わ。川^{かわ}。佐^さ。濃^{のう}。川^{かわ}。之^の大^{だい}。河^か
と^と。々^々。彈^{だん}。たり^{たり}。其^{その}。他^た。富^ふ。士^し。川^{かわ}

大井川○これ阿武隈川○ち坂田○ち

川○これ皆是時ゆれ大川○ちを。

幸維○ち温おの地佐○をんし。

東京北緯三十度○ち及

幸○ちふぬ京○ちふ緯三十度

度五分同緯度中他○ちの

五○ち子○ち以○ちれ○ちる○ち其○ち結○ち烈○ち也

東羽○ちの○ち方○ち九○ち州○ち其緯○ちを

大概中交強○ちる○ちる○ちを

暖○ちも○ち不○ち從○ちて○ち大○ちを○ち張○ちる

南に海岸へ暖あり
水方々を氣烈く北
城の山中かどに一室を
の隠れし四五月まで
都を去る。所代々毎小

遷都。大和の内小三
十小江橋はや河内
より長つるあり廿代
桓武天皇山城の事安
小遷都。今小遷都

ぬ西の京明^{めい}治^じえ東^{とう}辰^{ちん}の秋^{あき}。
此^こ東^{とう}京^{きやう}の行^{ゆき}幸^{さき}なり。維^い新^{しん}。
軍^い化^{くわ}の基^き代^{だい}ふ西^{せい}ふ紫^しと
う支^し那^な玉^{ぎよく}の北^{ほく}京^{きやう}とさへ出^でん^ん。
きく。東^{とう}洋^{やう}中^{ちゆう}に二^につち

き。一^い大^{だい}都^と會^{かい}に級^{きう}ひる。官^{くわん}。
省^{しやう}寮^{りやう}司^し魏^ぎとて。百^{ひやく}安^{あん}。
列^{れつ}星^{せい}出^でる。海^{かい}陸^{りく}軍^{くん}。
浦^う整^{せい}ひて。電^{でん}線^{せん}鉄^{てつ}道^{どう}。
る車^{くるま}風^{ふう}船^{せん}玉^{ぎよく}貨^{くわ}輜^そ輳^{そう}。

互市 鑒定 大學 小學
女子 校 工 技 藝 多 有
衆 一 亞 細 亞 洲 中 列 島
小 未 々 比 較 の あ る べ し 實
小 文 明 の 進 歩 一 々 必 國

勢 一 振 々 洋 人 も 亦 往 國 々
多 量 の 米 穀 を 年 々 收 納
大 概 三 十 七 十 餘 萬 石 又
土 民 の 華 族 あり 土
族 一 半 々 平 民 あり

皆^{みな}縁^{えん}縁^{ぐん}と縁^う手^てあり。

言語^{ごんご}と之^{こゝろ}来^{きた}之^{こゝろ}霊^{たま}の事^{こと}ふ

國^{くに}と他^{ほか}之^{こゝろ}縁^{えん}れて生^{なま}

少^{すこ}ゆかり。まゝ海^{うみ}和^わ人^{ひと}

を^み人^{ひと}と野^のの^みち^{みち}ふ^ふち^ちと。

手^て出^で水^{みづ}を^をせぬ^ぬ者^{もの}あ^あら^らば

て。其^{その}玉^{たま}と乃^の物^{もの}言^{いひ}を^を量^{りょう}

ふ^{けい}徳^{とく}古^こさ^さとる^るあり。な^なあ^あら

ぬ^と時^{とき}と^と生^な國^{くに}と^と其^{その}物^{もの}言^{いひ}

を^をあ^あら^らば^はと^と云^いふ^ふ事^{こと}の^のま^まふ

家出れ。今通候の物言と。
 替古せどしてあらうれば。
 是玄聖の幸と云れ。吾漢
 の者れ。更らぬ事と云う
 以て。此玄の意を今より学

道が底ありて。志強きこと
 あり。是れ我國の語学を
 了。少くも学ひて。其道め。
 あらう。ふり。悟。
 文字。元来我國の語学

ありて念おもをられ。五十いそにるを
あふりて。其要やう用ようをさし
たれ。應神天皇十六
年ひやくさい百斛ひやくより王仁わうにんが来
朝ちやうて諡おん諡ご語ごをみまの文もん負ふ志し

ありて我王われわうよ。漢かん文ぶんの文字
を入いれ玉たまふ其音おん韻くと字おほんゆ
る為ため字じにう倣なまらふ今いま付つる假かり
名なの如ごとく。家國けこくの昔むかしに
文字ぶんじを記しをけり。其その後のちに

示二の書
ミミ吉備公斗りて漢
出の文字より行倣名ふ
を物されき。其行倣名の
中一字を三まゝ慕ひて弘
法。いはばま書。一を大統

の世の人達をいろはもろ。
國字とりふと妙何ぞや。其ふ
玉のいろ。一の文字ある物の
跡りし。出座や三帰や
大和路の神の社の宝る。

てら
まの^{くら}庭^{つた}も^り傳^りえりて^ち中^ち
ま^あ津^あ枝^うのみ^りゆ^りあり。
衣^い袂^{ふく}の^{せい}製^{せい}は^{もん}文^む武^{てい}帝^{てい}後^{あら}改^{あら}
め^た玉^{とよ}ひ^め其^め後^ちふ^ちき^ち田^ちく^ち変^ち
里^ちそ^ちう^ちと^ちなる^ちま^ちく^ち知^ち玉^ちり^ち

う^う変^{せい}像^{ざい}も^ち。
に^に人^{じん}皇^{やう}十^じ代^{だい}
ち^ち宗^{しゅう}神^{しん}帝^{てい}任^{にん}那^なの^の役^{やく}と^と入^い
に^に治^ちふ^ち。
ち^ち垂^し仁^に帝^{てい}は^は田^{でん}道^{だう}留^{りゅう}
ち^ちち^ちで^で。
ち^ち勅^{しつ}使^しと^とく^くと^と出^でる^る。
ち^ち是^しは^は繼^{けい}く^く法^{はう}来^{らい}ハ^ハ終^{しゅう}く^くあ

れども西^{さん}進^{へん}せ。漢^{かん}出^{しゅつ}と^と平^{へい}交^{かう}
 のそやうり。後^{のち}新^{しん}國^{こく}の中^{ちゆう}
 まで。歐羅巴^{えろわ}ある葡萄^{ぶどう}呀^や
 文^{ぶん}の以^い九^く州^{しゅう}より一^{いつ}より
 りを始^{はじ}りて今^{いま}通^{つう}信^{しん}の

玉^{ぎよ}の支^し那^なや和^わ蘭^{らん}亞^あ米^め
 利^りのや英^い吉^き利^り佛^{ふつ}茶^{ちゃ}西^{せい}
 魯^ろ西^{せい}亞^あ普^ぷ魯^ろ士^し瑞^{ずい}西^{せい}葡^く
 萄^{たう}呀^や白^{はく}耳^じ義^ぎ伊^い太^{たい}利^り亞^あ
 西^{せい}班^{はん}呀^や丁^{てい}株^く澳^{あく}地^ち利^り

市^ハ唾^{わい}ふ。十^じヶ^ヶ國^{こく}は通^{つう}商^{しょう}
の^の為^{ため}と開^{ひら}く。と横^{よこ}濱^{はま}や大^{だい}
坂^{ひさし}兵^{へい}庫^こ長^{ちやう}崎^{さき}や米^{こめ}飯^{はん}新^{しん}
潟^がを^をく^くく^く。う^うれ^れも^も繁^{はん}花^か
の^の交^{かう}り^り。

渡^わ海^{かい}敷^ふ夷^{えい}と^と福^{ふく}た^た。水^{みづ}
海^{かい}道^{どう}の東^{とう}西^{せい}と大^{だい}凡^{はん}一^{いつ}百^{ひゃく}
二^に十^{じゅう}里^りふ。南^{なん}北^{きた}万^{まん}里^りふ。と^と
ど^どく^くて。後^{こう}来^{らい}必^{かならず}許^{ゆる}多^ため^め。
横^{くわう}山^{ざん}土^{きん}陸^{りく}土^どと^とく^くて。と^と人^{じん}

開^{くわい}化^{くわ}に^に到^{たう}る^るぬ^ぬ耕^{かう}作^{さく}粒^{りゅう}
 食^しを^をど^どし^しと^と漁^{しよ}獵^{れつ}と^と業^{ぎふ}を^を
 て^て生^{せい}活^{くわつ}を^を然^{ぜん}れ^れと^と風^{ふう}俗^{そく}質^{しつ}
 朴^{はく}と^と自^じ然^{ぜん}の^の備^びと^と禮^{れい}儀^ぎあ
 る^る。

琉^{りゅう}球^{きゅう}と^と薩^{さつ}摩^まう^うり^り。西^{せい}と^と南^{なん}
 へ^へ海^{かい}と^と大^{だい}凡^{ふん}一^{いつ}百^{ひゃく}二^に十^{じゅう}里^り。
 南^{なん}出^{しゅつ}に^に長^{ちやう}さ^さ廿^{じふ}七^{しち}里^り中^{ちゆう}ハ^ハ四^し五^ご
 里^りと^とな^なり^りて^て属^{しよく}島^{しやう}と^となり^{なり}
 あり^{あり}て^て柔^{じゆう}弱^{じやく}な^なり^り文^{ぶん}辭^じ

一。あつそふくそくそふハ
 まゝ篤風俗満ちて鎮西
 そふくそふくそふく。そふん
 一。あつそふくそくそふハ
 まゝ篤風俗満ちて鎮西
 そふくそふくそふく。そふん
 一。あつそふくそくそふハ
 まゝ篤風俗満ちて鎮西
 そふくそふくそふく。そふん

士^セ能^レ記^レされ^ル。安^{クハ}しき^ル事^{コト}ふ
 稜^{リョウ}多^ク。産^{サン}物^{モノ}人^ニ質^{シツ}地^チ味^ミ
 冬^{フユ}暑^{アツク}主^ニ探^{サツ}る^ル。家^カ國^{クニ}を。
 亞^ア細^{シヤ}亞^ア州^{シュ}中^ニ東^{トウ}一^ニの^ノ開^カ化^カの
 域^{イキ}に^ニ進^{シン}歩^ポせ^ルて^テ。実^{ジャク}ふ^ル國^{クニ}勢^{セイ}を

